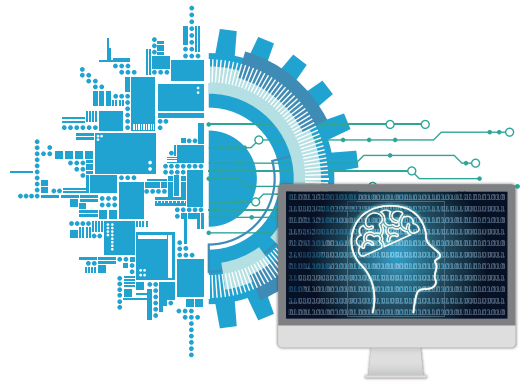


ところであり、特命随意契約については、より慎重な事務執行に努めていきたい。

問 AI・RPAの活用による業務効率化の目的および効果は。また、職員の体制や人材育成の方針は。

答 RPAは、業務時間の削減や処理量の増加を目的に、令和2年度から導入し、前年度の試験運用で想定通りの効果が見込めるものは、翌年度に本運用している。令和6年度の実績は、14課50業務で利用し、約9000時間の削減に寄与した。また、しっかりと保守ができる職員体制を整えとともに、管理職への研修やオンライン研修等、毎年人材育成の研修を実施している。今後も職員全体の知識の底上げに努めていく。



問 厳正厳格な公金管理のため、内部統制の具体的な方策は。また、職員へ制度の啓発は。

答 内部統制では、財務に関する事務を対象に、優先的に対応すべき9つのリスクを設定し、適正な事務の執行を確保する取り組みを進めている。令和6年度に発生した現金亡失事案を受け、令和7年2月に、公金等取扱事務要領を策定し、研修会を実施した。令和8年度からの本格運用に向け、各職員が制度の趣旨を理解し、統制活動に取り組むため、さらなる周知啓発、質の向上に努めたい。

民生 分科会

令和7年度越谷市一般会計補正予算(第3号)について

問 看護師等就業支援助成金について、期待する効果、9月定例会に補正予算として計上した理由、定員を超えた場合の対応は。

答 就業支援助成金、市内転入支援金、奨学金返還支援金の給付を同時に実施する点や、看護師免許取得済みの方も対象となる点で、他市の類似制度と比較して有利な制度であると考えている。また、事前に要望者に内定を通知した後、交付申請を行っていただく予定であるが、採用者が最終的に就職を決定する前に募集を開始するため、9月定例会で提案した。募集人員は年度あたり30名を想定しているが、定員を超えた場合には、抽選や補正予算での対応等を検討していきたい。

令和6年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 振り込め詐欺対策における通話録音機器の貸与台数は。また、今後の展望と特殊詐欺被害を防止するための取り組みは。

答 令和6年度は通話録音機器を100台用意し、2カ月弱で用意数をすべて貸与した。貸与台数は平成27年度から令和6年度までの累計で882台。通話録音機器を貸与した方へのアンケート調査においても好評をいただいているほか、令和7年8月末現在、越谷警察署管内で発生した特殊詐欺被害の65%が固定電話であり、振り込め詐欺対策として有効であると考えている。今後も他の啓発や防災行政用無線による注意喚起などの取り組みと併せて実施していきたい。

問 福祉SOSゲーム研修の開催状況と課題、今後の開催方法は。また、介護に関わる働く世代への情報提供は。

答 令和3年度の事業開始以降、毎年10件程度開催。本研修では住民みずからのケーススタディが重要であるため、今後は例えば自治会の班など、より小さな単位で開催していきたいが、PR方法等に課題があるため、参加者の意見も伺いながら検討を進める。働く世代に対しては、出張講座を実施しているほか、企業の研修として開催した実績もあり、今後も機会を捉えてPRに努めていきたい。

令和6年度越谷市病院事業会計決算認定について

問 収支均衡に向けた経営改善の取り組みは。また、優秀な医師・看護師確保の考えは。

答 診療単価の面では、HCU病床の運用強化など、提供する医療の質を向上させることで、入院診療単価のアップを図る。入院患者獲得の面では、地域ホットラインの開設等による救急受け入れ体制の強化を図る。看護師の確保については、大学等へのPRや就職説明会への参加、看護学生実習受け入れ等を実施していく。医師についても、順天堂大学病院や獨協医科大学埼玉医療センター等からの派遣をお願いするなど、あらゆる手段を講じて人材確保に努める。

環境経済・建設 分科会

令和7年度越谷市一般会計補正予算(第3号)について

問 かんがい排水整備の考え方は。また、葛西用水路における水草の繁茂による排水機能への影響と対応策は。

答 かんがい排水整備は、農業生産基盤に係る排水路等の整備を行うものである。また、葛西用水路に発生している水草は、生物に悪影響を与えるものではなく、効果的な除去対策は見つかっていないが、下流にあるゲートを下げて水を流すといった対応をしている。

令和6年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 こしがや・おがの交流の森整備事業の成果は。また、環境管理計画に基づく地球温暖化対策の取り組みの考えは。

答 小鹿野町と協定を締結し、森林整備のほか、植樹イベントなどの交流事業を実施している。環境教育の場の確保、カーボンオフセットによる二酸化炭素削減などの効果があると考えており、今後は森林面積の拡充について調整を進める。また、環境管理計画において、市域からの温室効果ガス排出量46%削減目標のところ、現時点で19.8%の削減となっている。市がリーダーシップをとり、地域全体で目標達成に向けて取り組んでいく。

問 資源回収奨励補助金に係る補助単価を引き上げる考えは。

答 回収量1キログラムあたり8円の補助単価は、中核市平均5.5円を上回っており、単価の引き上げではなく、補助金申請時の利便性向上を図ることを優先し、令和7年度から登録団体の要件緩和等を実施している。

問 自転車通行環境整備事業について、来年4月からの規制強化を控える中での今後の整備方針は。

答 既存の道路60路線、約45キロメートルを対象に、道路幅員や歩道幅員などを調査し、3種類の整備形態の選定に向けた基礎調査を実施した。自転車の安全な通行空間を確保し、歩道上での事故防止と自転車の役割拡大を進めていきたい。

問 公園施設の不具合通報に関し、公園のトイレに貼り紙を設置するなど、利用周知の取り組みは。

答 公園施設の不具合に係る要望は、電子申請やメールでも受け付けている。貼り紙について検討するほか広報紙、SNSを利用し、定期的にお知らせするなど電子申請の利用につながるよう周知方法を検討していきたい。



子ども・教育 分科会

令和6年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について

問 こども医療費の支給対象年齢拡大に伴う財政への影響は。また、低所得者の方等の受診状況は。さらに、償還払いの申請時の負担軽減の考えは。

答 支給対象年齢の拡大部分の支給額は約1億5900万円、件数は約6万3000件であった。また、所得による受診状況の詳細な分析は行っていないが、件数および支給額が増えていることから、低所得者の方を含め適正に支援できていると認識している。さらに、償還払いの申請について、まとめたの申請案内や、複数申請の際は複写するなどして、負担軽減を図っている。

問 スクールロイヤーによる法務相談事業について、相談をした学校や教育委員会の評価は。また、保護者側のメリットは。

答 スクールロイヤーに相談することで学校も自信を持って対応できる。また、保護者側にとっても、法的な後ろ盾がある学校の判断は非常によいのではないかと捉えている。

問 越谷コミュニティセンターの施設改修工事について、今後の予定と方法は。

答 小規模のものは管理運営委託料で、大規模のものは次年度の予算策定前に優先度の高いものについて指定管理者から報告を受け、予算の範囲内で対応している。現在の指定管理期間は令和8年度までとなっており、令和9年度以降については現時点では未定であるが、老朽化もあり再度の延長について慎重な検討が必要と考えている。

全体会において、以下のとおり質疑・討論がありました。

令和7年度越谷市一般会計補正予算(第3号)について…委員長報告に対する質疑1件

令和6年度越谷市一般会計歳入歳出決算認定について…反対討論1件

令和6年度越谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について…反対討論1件

令和6年度越谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について…反対討論1件

各議案の概要は右記QRコードからご覧いただけます。

